

丹波市議会だより

たんばりんぐ

令和2年

7

No.62

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は年4回



たんばりんぐ



- 特集：**新型コロナウイルス感染症対策強化補正予算… 2
新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応… 6
ココがギロンの論点！… 8
議案の審議結果… 10
ココが聞きたい！一般質問… 12
政務活動費… 17



Open! →

新型コロナウイルス感染症対策強化補正予算

74億7561万6千円を可決

3 子どもたちの生活・学習環境を問う

- 問 休校により、食事が十分摂取できない子どもたちへの対応はどうか？
- 答 業者へ弁当を発注し各学校へ配達。その後学校から教師が各家庭へ見守りも兼ね配達します。
- 問 各小中学校へ配置される学習指導員とは？
- 答 臨時休校に伴う補習等を支援するために配置するものです。授業中や放課後を問わず、きめ細やかに支援します。また、3密にならないように少人数で学習できる環境に配慮します。
- 問 認定こども園にも支援が必要では？
- 答 希望する園に出向き、感染症予防に対する正しい知識を身につけていただくための健康教育を行いました。また、マスクや消毒液を配布しております。



4 特別定額給付金を問う

- 問 特別定額給付金を寄附したいという、市民の温かい想いに応えるために、支給前に受け皿を設置すべきでは？
- 答 ふるさと納税と一般寄附の二つの方法があり、どちらも可能と考えます。また、基金の設置という方法も考えられますので早急に検討します。(のちの6月定例会で新型コロナウイルス等感染症対策基金条例を可決しました。5ページに掲載)
- 問 特別定額給付金対象基準日(4月27日)よりも後に生まれた新生児への対応は？
- 答 対象外になる新生児には子育てを応援する施策ができないか検討します。



5 経済対策を問う

- 問 「休業要請事業者経営継続支援事業」や「中小企業者事業継続応援事業」等色々な支援事業があるが、要件が合致すれば重複申請は可能か？
- 答 幅広く支援させて頂かなければならないと考えておりますので、重複申請は可能です。また、家賃補助との重複もできます。
- 問 前年売上が比較できないような新規起業にも支援が必要では？
- 答 起業時の売上と基準月である4、5月の売り上げを比較して活用頂けるように運用を考えます。
- 問 中小企業者事業継続応援事業は、市内3,000事業者を予定とあるが、商工会に一任してしまうと商工会の業務に支障が出るのではないかと？
- 答 市の事業であり申請受付・審査・交付等を市が行うことを基本に、商工会と協議しました。



コロナ対策に関する補正予算を議長を除く議員全員で審査しました。



今回の新型コロナウイルス感染症対策では、①感染拡大防止、②雇用の維持と事業の継続、③経済活動の回復の三本の柱を軸として補正予算が編成されました。5月13日に開催した予算決算常任委員会では、議員から多くの質疑があり慎重審議の結果、翌14日の臨時会において全会一致で可決しました。

5月臨時会
ココがギロンの
論点!
コロナ対策 補正予算

1 丹波市財政を問う

- 問 コロナ禍で本年度の予算執行を一度精査した方が良いのでは？国からの交付金の状況は？
- 答 予算執行できない施策事業もあり、事業の見直しが必要と考えています。今後、国からの臨時交付金があると考えております。
- 問 市単独事業(市のお金のみで行う事業)の予算規模と財源をどのように考えているか？
- 答 緊急事態のため10~20億円程度必要になるかもしれません。財政調整基金^①以外の基金からも活用を検討します。

^①財政調整基金…財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための基金。



2 感染拡大防止体制を問う

- 問 国保青垣診療所の体制は充分か？
- 答 3月から発熱外来を開設しており、今回は医療用ゴム手袋、マスク、消毒液等の消耗品が少なくなってきたので補正予算計上しており、充分対応できるものと考えております。
- 問 介護施設等の感染拡大防止策は？消毒液・ゴム手袋等の補助となっているが、エプロンやフェイスガードなど介護者が身に付ける備品等の補助も必要ではないか？
- 答 一般感染対策として、市の備蓄や寄附を頂いた物を介護施設や障がい者の事業所へ配布しております。今回の予算計上は、市内の介護事業所内で感染が疑われる者が発生した場合の消毒についての補正予算です。



新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化へ!!

コロナ対策に 新たな補正予算を追加

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各方面に影響が出ている中、その対策として5月の臨時会では大型補正予算を可決しました。

ただ、「新しい生活様式」も始まり時機に応じた新たな対策が必要となり、これに関連する補正予算を追加で可決しました。



① 感染拡大防止策〔自主避難所感染症予防対策〕

自治会公民館などの施設を自主避難所として開設する自主防災組織に対して、感染症予防対策に必要な備蓄品の購入に係る経費を補助する。

- ・ 上限 20,000 円（補助率：10 / 10）
- ・ 対象経費 マスク、消毒液、換気用機器などの資機材

問 周知の方法や購入品目選定の考え方などどのようにするつもりか？

答 各自治会長宛に書面で通知します。自主防災組織で感染症予防対策に必要な購入品を決定してもらい、各組織からの申請に応じて助成します。まずは、感染防止対策など市が通知する「自主避難所開設に係る注意事項」を参考にして、各組織の災害対応に適合して活用して頂くことを考えています。



② 学校の臨時休校等に対応するための環境整備

〔モバイルルーター整備とオンライン学習ソフトの導入〕

学校の臨時休校の長期化に伴い、学力保障や今後起こりうる感染第2波の到来を想定した家庭内学習環境の整備を図る。

問 モバイルルーターの貸与数と比べ、タブレットなど受信端末機器が少ないが、その対応はどうするのか？

答 タブレットなどの受信端末機器は、これまで学校等で保管しているものを修理・整備して環境を整えていきます。

問 オンライン学習ソフト（スタディサプリ）の使用を子どもたちの自主性に任せて大丈夫か？

答 ソフトには、学習確認テストがセットされており、その結果を教師が把握でき、個別の指導もできるシステムになっています。

〔児童生徒の熱中症対策〕

不足した授業時間を確保するために夏休みを短縮するなどの対策が必要な中、下校時をはじめとする学校生活での熱中症対策を行う。

問 水分補給用としてスポーツドリンク等が配布される予定だが、その他に対策は考えていないのか？

答 市内各学校の実情や取組事例など聞き取りし、各学校に応じた対策を実施します。



コロナ対策の

基金を市が設置

これまで「コロナ対策」に寄附をした「何かの形で力になりたい」と多くの温かい市民の皆様から声を頂き、コロナ等感染症対策という目的を明確にした基金の創設を市議会としても提案してきました。

今回、そうした声を受け基金の創設が実現しました。



問 基金の名称に、「等」が付いているが理由は？

答 今回の新型コロナウイルスだけでなく、新興の感染症にも対応するため「等」をつけております。また、予防・拡大防止・生活支援といった関連する様々な対策についても対応することを考えております。

問 基金の設置を市民へどのように周知し、呼び掛けるのか。振込手続きは？

答 防災行政無線や広報でお知らせします。ただ、義援金と性格が異なるため積極的な呼びかけは考えていません。本来、感染症対策は行政の一般財源で行う責任があるためです。寄附の方法は、市の窓口で直接お手続きして頂くか、ご希望された方に振込用紙の郵送を考えています。振込口座を広報する予定はございません。



* 事業者に対する事業継続支援策の実施状況について質疑を行いました *

問 対象月は、国は緩和しているが市は4、5月のままか？

答 対象月を延ばすことの検討は必要と考えています。

問 製菓店等の支援は？

答 喫茶店飲食も考えています。ダブルチャンスの抽選は製菓店等の商品を利用します。

問 丹波市のテイクアウトは思ったより少ないがどう考えるか？

答 3店舗の意味は、ひとつの店舗に集中しないように考えました。7月からは、店内飲食も検討しています。

問 飲食店の応援事業としてテイクアウトの助成を行っており、7月1日から店内飲食も対象となるようだが、テイクアウトと店内飲食の助成は別々にすべきではないか？また、スナックは対象とされないのか？

答 自粛解除後、人出も戻りつつある中、さらに消費活動の活性化を考えたためです。事業の目的に変更はなく、テイクアウトを継続しながら店内飲食も対象としますので、同一事業としています。スナックについては検討します。



新型コロナウイルス感染症に

対する議会の対応

2月27日、「丹波市における新型コロナウイルス感染症拡大防止対応方針」の発表以降、丹波市議会としても様々な対応をしてきました。

【3月27日】
①5月開催予定の市民との意見交換会の中
止
②各委員会の行政視察の自粛

議員発言の仕方・当局側の出席数の削減
②6月定例会の一般質問での対応
・1時間毎に換気を行う。
・コロナ関連の一般質問を各会派から1名とする。

議員報酬等の削減
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策・自粛要請によって市民の日常生活また医療・経済活動に甚大な影響を及ぼしている状況から、議員報酬等を削減することとしました。（詳細は次ページに記載）
今後も、議会としてできることは何か、しっかりと議論し、実行してまいります。

新型コロナウイルスに対する対応を議会運営委員会で決定しました。



議員・議会活動の対応

【3月10日】
①3月定例会の一般質問を会派の代表による6名に制限
②議会傍聴者へのマスク着用、手洗い・消毒の励行
③議員の当局への問い合わせ、要望等は直接行わず、議会事務局で整理して議長より行う。

【4月8日】
①議員及び事務局職員が感染した場合の対応、感染者の情報公開基準の決定
②感染症対策をより一層徹底するために、委員会室等の換気・手指衛生の徹底・マスクの着用、各自での体温計測等の申し合わせ
【5月1日】
①本会議場における

③委員会における対策
・議案質疑を通告制とし時間短縮を図る。
④議員総会における対策
・協議、報告事項は可能な限り減らす。
⑤会派ごとにインターネット会議を推進する。

③委員会における対策
・議案質疑を通告制とし時間短縮を図る。
④議員総会における対策
・協議、報告事項は可能な限り減らす。
⑤会派ごとにインターネット会議を推進する。

議員報酬等の削減を実施します！！

会派代表者会議での調整の結果、議員全員の賛同により、感染症対策に向けた財源確保を目的として、議員報酬・政務活動費・所管事務調査費の削減（約720万円）を実施します。この財源は、議会からの提案により感染症対策を目的として創設される基金に積み立てられ活用されます。

発議第2号

丹波市議会新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた財源確保に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

1 提案の趣旨

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策・自粛要請によって、市民の日常生活また医療・経済活動に甚大な影響を及ぼしている。こうした状況の中で、市議会として市民とともにこの困難を共有し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、これを乗り越えるために全力を挙げる決意と、感染症対策に向けた財源確保を目的として一括整備条例を制定し、所要の改正を行うものである。

2 改正の概要

- (1) 第1条関係 丹波市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例（平成16年丹波市条例第40号）の一部改正
ア 令和2年6月の期末手当の額から100分の20を乗じて得た額に相当する額を減額するため、附則に1項を加える。
- (2) 第2条関係 丹波市議会政務活動費の交付に関する条例（平成17年丹波市条例第12号）の一部改正
ア 令和2年6月1日から同年12月4日までの間、政務活動費を交付しないこととするため、附則に1項を加える。
イ 別表中の字句修正

【削減効果額】

項目	削減効果額
6月議会議員期末手当	2,949,122円
政務活動費	1,400,000円
計	4,349,122円

所管事務調査費の削減額

(各委員会が行う視察や研修会への参加費などの予算)

電車・飛行機・宿泊（各委員会分）	1,596,000円
通行料・駐車料（先進地への視察4回分）	120,000円
バス代（ // ）	945,000円
研修会受講料（広報研修負担金）	200,000円



6月定例会では、21議案が市議会に提出され、慎重に審議いたしました結果、撤回された議案を除く20議案を可決しました。本会議・委員会での議論をお伝えします。



- 問** 入札価格に差があるが、性能には問題がないのか？ 予定価格は何をもとに算出したのか？
- 答** 仕様書に性能を提示し、その性能と同程度以上となることを確認して入札を行っています。入札予定価格は、市場取引価格の状況を把握して決定した設計価格を基準にしています。
- 問** 古い小型動力ポンプの処分方法は？
- 答** 基本的には廃棄処分です。売却まで計画していませんが、今後の検討課題といたします。

- 問** アフターケアはどうなるのか？ 長期的に費用がかかることにならないか？
- 答** 修繕が必要となる場合は、契約の相手方に依頼することになります。減価償却では車両は5年、小型ポンプは15年ですが、それ以上を期待しており、使用の用途は20年です。

柏原支団、氷上支団に各1台配置します



どうなる!? 指定管理者による斎場管理

令和3年4月1日から丹波市斎場の業務と管理を指定管理者に行わせる条例改正の議案が提出され、市議会ではこれを可決しました。

- 問** 小動物の焼却はどこに申し込むのか？
- 答** 現在は市役所に連絡をして斎場に行ってもらっていますが、指定管理後は直接斎場へ連絡していただくこととなります。
- 問** 指定管理者が料金を改定することはないか？
- 答** 料金改定は、指定管理者の権限としていません。
- 問** 業務委託から指定管理に移行するメリットはあるのか？
- 答** 現在外部委託の火葬業務に加え、斎場使用許可業務と斎場維持管理業務を集約することで、経費の削減と市民サービスの向上をはかります。
- 問** 斎場の予約はどうなるのか？
- 答** 市の窓口で市職員が使用者に代わって、炉の空き状況を斎場に確認し仮予約を行います。そして、葬儀当日に斎場では使用許可申請書を出し、直接使用料の支払いをしていただきます。

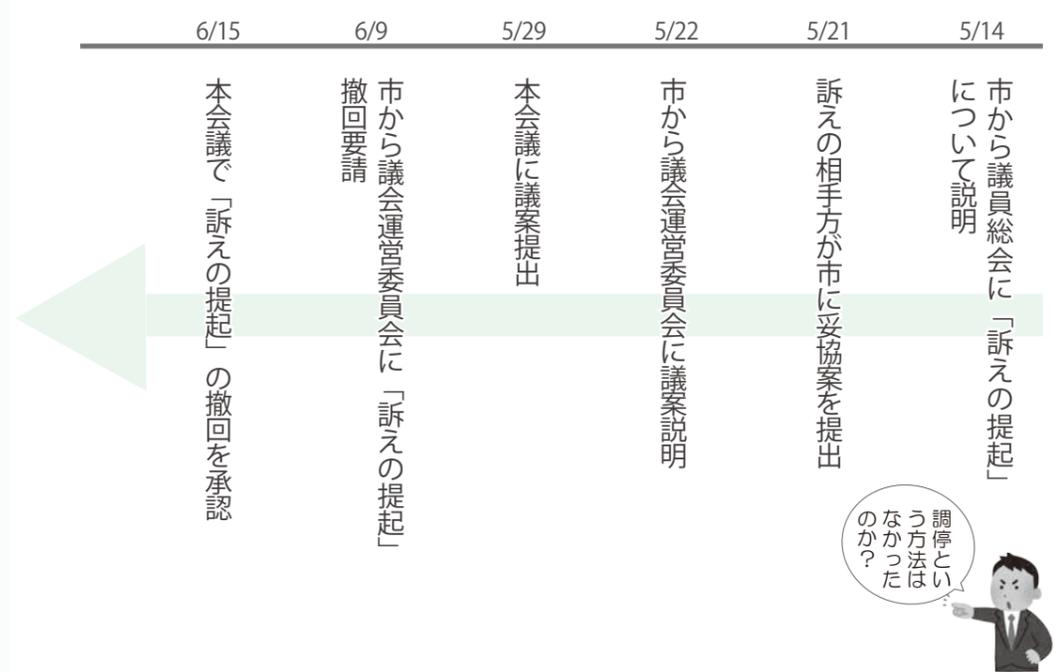
市が和解に向け、

訴えの提起を撤回

平成29年度に丹波市において発覚した補助金不正受給事件において、前山地区鳥獣害防護施設管理組合が負担すべきであった鹿柵の地元負担分と、加算金及び延滞金の返還を求め神戸地裁に提訴する方針でした。しかし、和解に向けた協議を進めるため、市は関連議案の撤回を要請し、議会はこれを承認しました。

- 問** 訴えの提起を一旦見合わせることもできた。時間はあるのに、なぜそんなに急いだのか？ 適切な判断をすべきであったと考えるが、どうだったのか？
- 答** 何とか訴えを避けたいという考え方はありました。しかし、妥協案が示されたのは議案説明をする議会運営委員会の前日であり、妥協案に示された金額が市が返還請求した地元負担分と差があるため精査できず、撤回できませんでした。
- 問** 判断が遅すぎるのではないのか？ 和解し^{かこん}禍根を残さないようにすべきだ。
- 答** 客観的に妥当な金額での合意に向けて協議を進めていく必要があると考えています。
- 問** 議案の撤回は懸命な判断と考える。提出資料によると協議があまりなされてなかったとみる。今後和解に向けて十分腹を割った協議はできるのか？
- 答** これまでも双方の弁護士を通じて協議をしてきましたが、合意には至りませんでした。今後、弁護士とも十分相談をしますが、我々も腹を割った協議をさせていただきたいと考えております。
- 問** 地元負担金について、そもそも地元は納得していなかったのか？
- 答** 元々においては理解があったと考えます。

議会での流れ



ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、13名が私たちの生活にかかわることについて質問や提言をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

今回は、申し合わせを行い、コロナ関連の質問は各会派から1名としました。



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継

一般質問



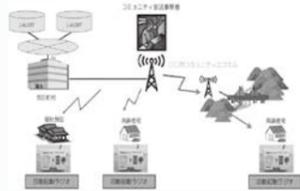
ふじわら さとる 藤原 悟 議員

問 今回の新型コロナウイルス感染への対応の課題や問題点を踏まえた行動計画の見直しは、

答 緊急対応が一定程度落ち着いた後、発生前の体制、リスク管理は十分だったか、迅速な対応はできたか、対策二一を適切に把握できたかなど、様々な視点での検証を行い、実効ある行動計画にしていきたいと思います。

問 感染症対策による地域防災計画の見直し

答 感染症対策を踏まえた避難所の在り方や備蓄品、情報提供の方法等、地域防災計画の見直しを。



コミュニティ放送を活用した自動起動ラジオの事例

問 兵庫県が策定した「避難所運営ガイドライン」を踏まえた対策を進めます。地域の公民館等の避難所はマスクや消毒液などの資材の備蓄も支援します。ラジオ放送を活用した情報提供については、「FM805たんば」と今後も情報共有を図り連携を密にしていきたいです。

答 兵庫県が策定した「避難所運営ガイドライン」を踏まえた対策を進めます。地域の公民館等の避難所はマスクや消毒液などの資材の備蓄も支援します。ラジオ放送を活用した情報提供については、「FM805たんば」と今後も情報共有を図り連携を密にしていきたいです。

問 コロナ禍の中で県下では31自治体で水道料金の減免を実施している。県の水道を使用していない8自治体も減免を実施している。水道の基本料金3ヶ月減免することは市民への大きな応援になるか。

答 今後も新型コロナウイルス対策を行う必要があり、市民への支援策が十分でない、支援額の規模がどの位が適当か。



にしわき ひでたか 西脇 秀隆 議員

問 コロナ禍の中で県下では31自治体で水道料金の減免を実施している。県の水道を使用していない8自治体も減免を実施している。水道の基本料金3ヶ月減免することは市民への大きな応援になるか。

答 今後も新型コロナウイルス対策を行う必要があり、市民への支援策が十分でない、支援額の規模がどの位が適当か。

問 コロナ禍の中で県下では31自治体で水道料金の減免を実施している。県の水道を使用していない8自治体も減免を実施している。水道の基本料金3ヶ月減免することは市民への大きな応援になるか。

答 今後も新型コロナウイルス対策を行う必要があり、市民への支援策が十分でない、支援額の規模がどの位が適当か。



マスクの着用を

問 コロナによる固定資産税の減免は、令和3年度で事業収入の減少幅に応じて全額又は半額軽減する。

答 国の一方で、コロナ関係の医療従事者、福祉施設職員に慰労金が考えられています。この動向を注視していきます。

問 また、市としては医療施設、社会福祉施設にマスク・消毒液を配布して感謝されていますか。



感染予防には「手洗い」

問 コロナ対策の公共料金納付免除として考えたい。

答 上下水道の支援策は、夏・秋以降の対策として考えたい。



やまな たかえい 山名 隆衛 議員

問 県下で高料金の上位ある上下水道料金の丹波市だからこそ、コロナ対策に苦しむお客様に固定的な支出の削減により生活回復への支援が必要である。

答 経済的支援策については、目的、対象手段を十分検討して優先度を考えながら財政負担を総合的に判断して考えます。上下水道料金の免除という手段を使って経済的支援の有効性、必要性を県内

問 県下で高料金の上位ある上下水道料金の丹波市だからこそ、コロナ対策に苦しむお客様に固定的な支出の削減により生活回復への支援が必要である。

答 経済的支援策については、目的、対象手段を十分検討して優先度を考えながら財政負担を総合的に判断して考えます。上下水道料金の免除という手段を使って経済的支援の有効性、必要性を県内

問 県下で高料金の上位ある上下水道料金の丹波市だからこそ、コロナ対策に苦しむお客様に固定的な支出の削減により生活回復への支援が必要である。

答 経済的支援策については、目的、対象手段を十分検討して優先度を考えながら財政負担を総合的に判断して考えます。上下水道料金の免除という手段を使って経済的支援の有効性、必要性を県内

問 コロナウイルスへの対応は適切か

答 新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき適切な対応と考えます。

問 コロナによる固定資産税の減免は、令和3年度で事業収入の減少幅に応じて全額又は半額軽減する。

答 国の一方で、コロナ関係の医療従事者、福祉施設職員に慰労金が考えられています。この動向を注視していきます。

問 コロナ後の時代の変化に備えを

答 市民からのご批判をふまえ、時代に遅れないよう取り組みます。

問 今回の新型コロナウイルス感染への対応の課題や問題点を踏まえた行動計画の見直しは、

答 緊急対応が一定程度落ち着いた後、発生前の体制、リスク管理は十分だったか、迅速な対応はできたか、対策二一を適切に把握できたかなど、様々な視点での検証を行い、実効ある行動計画にしていきたいと思います。

問 公共事業の前倒し発注で景気の下支えをどうするか。

答 繰越事業費と併せ約43億8800万円の事業費のうち、第2四半期までに契約率を繰越事業費90%、現年度事業費80%を目標値に、年度内完了を目指し早期の事業発注に努めます。また市内事業者への優先発注と支払いの迅速化に取り組んでいます。

問 新型コロナウイルス感染対策では市民から「丹波市は遅い」との批判が多くあった。反省点は、

答 対策本部は県下でいち早く2月28日に立ち上げ、予算規模や細やかさも見劣りしませんが、3つの点で反省があります。①施策検討に時間がかかり4月17日の対策案集約から5月14日臨時議会まで時間を要したこと。②マスク等の備蓄が十分でなく妊婦さん等緊急性の高いところを優先させるを得ず、広く市民の方々に配布できなかったこと。③感染予防情報だけでなく市民の方々の不安に

問 旅行業、バス・タクシー事業、飲食業、イベントなどの支援はどうか。

答 市内の旅行業者の業績回復、そして丹波市への誘客促進につながる効果的な取り組みを期待しています。



やすら樹も休業から再開へ

問 旅行業、バス・タクシー事業、飲食業、イベントなどの支援はどうか。

答 市内の旅行業者の業績回復、そして丹波市への誘客促進につながる効果的な取り組みを期待しています。



広報特刊号と丹新会から2度にわたって行ったコロナ対策提言書



おたきいちろう 太田喜一郎 議員



あきひろ 昭彦 議員



まさゆき 正行 議員

妊娠確認時の患者負担軽減を

可及的速やかに市独自で対策を検討します。

4月から選定療養費(紹介状なし)の受診時患者負担が改正により、200床以上の病院は医科初診時5000円、再診時2500円徴収となった。産科に限り市独自で受診者の負担軽減をすべきだ。

市内で唯一、出産できる病院であるため、紹介状を持参されず受診される方が多いと推察します。産科医療存続のためにも



市内唯一の産科がある丹波医療センター

可及的速やかに市独自で対策を検討します。総体などの代替大会を

新型コロナウイルスの感染は丹波市周辺地域ではごく限られています。リスクを避けるだけでは社会は死んでしまう。子供たちの郷土愛を育むために市内の施設を活用し応援も家族に限定し、部活動の集大成の総体の代替大会を出来ないか。

市教委主催の大会の開催は夏季休業日の短縮、十分な練習期間の確保ができません。怪我や熱中症も心配されることから難しいと考えております。

農地の規制緩和を望む。

遊休農地を抑制する為、人・農地プランで有効利用を図ります。

高齢化、後継者不足が進む中、丹波市独自の規制緩和策を考へられないか。

農業振興地域においては、総合的に農業の振興を図る観点から厳格な法規制があり、現行の法制度では市独自の規制緩和は難しいです。遊休農地を抑制する為、地域全体で農地の有効利用を考へる、人・農地プラン

現在、針広混交林整備事業を行ってまいります。又、「丹波を眺める高谷山登山コース」に設定されており、サイクルスポットにもなっています。今後共に、案内看板については観光協会と協議しながら整備を検討してまいります。



いつまでできるか、このたんぼ



わたなべ ひでゆき 秀幸 議員

医療的ケア児等への支援の充実を

退院後の在宅生活では、多職種が連携し、サービス利用等支援します。

医療的ケア未就学児がサービスを受けるまでの過程は?

担当者が相談を受け、児童発達支援や医療型の短期入所など、どのようなサービスを受けていただけるのか総合的に様々な検討をし、月の計画を立ててサービスを提供しています。

サービスの利用について、家族の希望にに応じられているのか。

100%のサービスが決してある状態です。



気管切開をし、呼吸をアシストされている医療的ケア児

状況ではないと認識してあります。その意味では福祉計画のなかで協議し、ニーズ、客観的な状態、医療的な状況に応じて、必要なサービスが丹波市内で整っていくようにサービス提供体制のあり方についても今後、検討していく必要があると考えています。

親の高齢化に伴う将来不安に、市として支援が必要ではないか。

丹波市障がい者施策推進協議会でもそういった事が出ており、「まんがいちネット」で相談を受けられる体制をとります。



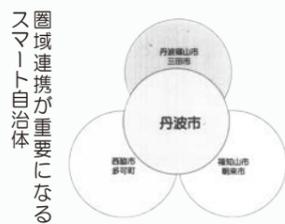
ひろた ひろみ 議員

スマート自治体への推進を!

今後RPAの試験導入を実施して事務作業の軽減を進めます。

アフターコロナ後には行政事務も劇的に変化する、デジタル化への準備は出来ているか。

申請書類や決裁書類等については電子データ化には至っていませんが「紙から電子へ」を目指し行政サービスのあり方を根本から見直します。また全国的な統一アプリケー



圏域連携が重要になるスマート自治体

シヨソ導入の流れに乗遅れないよう準備を進めます。

職員の社会貢献活動を

報酬を得て社会貢献活動できる「パラレルキャリア制度」を推進し、地域愛と人材育成を進めるべきではないか。

検討課題としていますが、職員が地域社会のコーディネーターとして、公務以外の活躍が期待されるなど、働きがいやキャリア形成という点では選ばれる自治体としての条件になり得る可能性があります。有能な若い職員を集めるには、先進的な取組が必要であると感じています。



よしとむ よしき 議員

スマート自治体：システムやAI等の技術を駆使して、効果的・効率的に行政サービスを提供するしくみ RPA：ロボテックス・プロセス・オートメーション、定型業務を自動化する技術

くらし応援隊の今後のあり方は

生活支援はくらし応援隊へ集約し、介護人材を有効に活用します。

日常生活で困っている高齢者の家事支援を担うくらし応援隊は利用しやすいサービスか。また、拡充するために、活動した時間を貯金して、将来の自分のサービス利用の資金とする「時間貯金」は考へられないか。

本年4月、利用促進の観点から、市が利用料の一部を助成し、利用料金を下げました。「時間貯金」につ



くらし応援隊で更なる支え合いの地域を

国では積極的勧奨を控える勧告をしているが、対象者に正しい情報を伝え、接種を判断できる環境が必要ではないか。

子宮頸がん予防接種の機会の確保と制度の周知を

国では積極的勧奨を控える勧告をしているが、対象者に正しい情報を伝え、接種を判断できる環境が必要ではないか。情報の周知はHPや医療機関等で行い、専用サイトの案内メールでは、接種勧奨は控えている旨を記載した上で接種可能であることを提示し、接種の機会を確保しています。



よしこ ゆき 議員

市教委後援名義使用手続きは問題

適正な手続きでなく、不快な思いさせお詫びします。

後援名義「不許可」の理由は何か。

構成団体に丹波市9条の会連絡会等があり、「政治活動のおそれがある」と判断しました。

「専決処分」で「不許可」とした経過はどこか。

以前から教育長が「専決処分」していましたが、「要綱」としては適正な取り扱いではなく、申請団体には不快な思いをさせ、お詫び申し上げます。今



市教育委員会が入る山南庁舎

後適正な手続きに改めてます。『プログラミング教育』における教育の機会均等は、教育長のコラム「教育長室から」で「平等重視は、結果的に格差拡大し平等にならない」と述べているが、「教育の機会均等」はどうなのか。

コロナ問題で最優先したのは、いろんな方法を駆使して子どもや保護者につながることです。『指摘の通り、誰一人取り残さない学力保障』のケアに向け、ICT環境整備などに努めます。



よしまさ にしむら 議員

県立柏原高等学校吹奏楽部のみなさん

高齢者の人口が増加すると思うので、高齢者が関わる事故が増えないことを期待します。

学校以外で気軽に利用できる練習施設がほしい！

楽しいイベントを増やし、ぜひ私たちを呼んでほしい。みなさまにパワーをあたえたいです。



※写真撮影のため屋外でマスクを外しています。

丹波市のココに期待しています！

氷上子育て学習センター

希望するこども園に入れるようになって欲しいです。

地域に公園を増やして欲しいです！



※個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

- | | | | | | | | | |
|----|----|-----|----|----|------|-----|-------------|---------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 「広報広聴委員会」議長 | 「発行責任者」 |
| 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 林 | 時彦 |
| 藤原 | 谷水 | 広田 | 吉積 | 大嶋 | 大西 | 近藤 | | |
| 悟 | 雄一 | まゆみ | 毅 | 恵子 | ひろ美 | 憲生 | | |

市民の皆様の声をお聞きする「市民との意見交換会」や取材等の広聴活動が制約される状況ですが、工夫しながら、これまでとおり市民の皆様視点にたった編集に努めてまいります。



あとがき
ウィルスを
寄せ付けないで
守宮さん

新型コロナウイルス禍により社会の様相が一変し、今後も新しい生活様式が求められることになりました。議員・議会活動の在り方も模索していくこととなります。